

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2011年4月30日】

団体名NPO法人市民共同学習プロジェクト子どもひろば

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

子どものいのちを守りこころを育てる出前授業プロジェクト

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

全国でいじめによる子どもの自殺、大人による連れ去り事件が相次いで起きています。また、不登校ひきこもりの人の数が増加、長期化し深刻な社会問題になっています。子どもの健全な成長と人格形成を支援し生きる力を身につけることを目的としております。子どもは参加型ワークショップで自分を守ること、人を傷つけないことを疑似体験し考え、保護者や地域住民には大人が子どもに対してどの様な対応をし子育てや見守りをするべきかを講話で聞き被害者も加害者出さない地域社会を作る意識を高めることを目的としたプログラムを構成しています。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

- 1.多摩地域の保育園、小学校で子どもと保護者にワークショップ、講演会を行います。
- 2.直接子どもに繋がりがづらい不登校の子どもの場合親に相談やリラックスを取り入れた親の会を実施します。
- 3.参加者には相談カードを渡し受講後もいつでも相談が受けられるようにします。
* 講話やワークショップは保育園では主に連れ去り防止教育、小学校ではいじめ、連れ去り、街頭キャッチの対応がプログラムの主となるテーマです。
- 4.活動をまとめた冊子を作成し開催した保育園、小学校に配布します。また広く活動を知ってもらう為にボランティアセンター、市民活動センター等に送付します。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

- 1.保育園、小学校で17回のワークショップを実施しました。参加者は子ども273名保護者249名延べ522名になりました。
- 2.不登校親の会を8月3月を除く10回実施しました。参加者は25名になりました。
- 3.ワークショップ活動に関わるボランティアの参加数は56名になりました。
- 4.活動報告の冊子50部作成しました。2011年度になります送付、配布いたします

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

経済的な不況が影響して講演会を開催したくとも予算が少ない、または予算が無いと言う団体の声を多く聞き、助成金を受け実施が可能となったことで主催の方、参加の方から感謝のお言葉を頂きました。参加者の感想を掲載した活動報告を資料として提出いたします。受講後多くの方が勉強になった、大切なことを教わった、為になったと声をかけてくださいます。本当に必要な正しい情報の提供、自ら学び考える学習をこれからもより多くの人々に提供出来るように努力前進していきたいと思っております。助成下さいましてありがとうございました。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

